

新規感染も死者も世界最悪…コロナ第7波「8月上旬ピークアウト」を信じていいのか

2022年8月07日 日刊ゲンダイ



3年ぶりに行動制限のない夏（c）日刊ゲンダイ

新型コロナウイルス第7波はピークに達しつつあるのか。

オミクロン株の派生型「BA.5」が猛威を振るう中、全国の新規陽性者数（1週間平均）の伸び率は4日までの2週間で、67%増（7月21日～28日）から10%増（7月28日～8月4日）に急落。頭打ちのように見える感染状況に「今月上旬にはピークアウトする」との観測が浮上しているが、楽観視はできない。

国が陽性者数をきちんと集計できていない可能性が濃厚だからだ。

全国知事会会長を務める鳥取県の平井伸治知事は4日の会見で、国が感染者情報を一元管理する「HER-SYS（ハーシス）」に関し、集計が実態に合わなくなっていると指摘。第7波について、政府と地方の間で「認識のズレ」が起きていると訴え、「厚労省の関係の人たちなどに話を聞くと〈第7波はもう収まっている〉ような雰囲気と言うんです」と嘆いた。

こうした「ズレ」が生じている背景が、ハーシスを用いた陽性者の全数調査の破綻だ。特に都市部ではPCR検査や受診の予約ができず、無料検査所での陽性者数も反映されないため、「東京はもう（陽性者の）数が減ってきていますねという捉え方になる。（ハーシスのデータを用いると）シミュレーションも狂ってくる」（平井知事）という。

■日本は新規陽性者数と1日当たりの死者数が共に世界ワースト1位

世界各国のコロナ関連の統計を集計している米ウェブサイト「worldometer」によれば、人口100万人当たりの日本の検査数は、230カ国・地域中126位。検査体制がいまだに先進国レベルに達していない上、新規陽性者数と1日当たりのコロナ死者数が共に世界ワースト1位（5日時点）という惨状だ。

「何度同じ失敗を繰り返すのでしょうか。感染の波が襲来するたび、検査不足が発生しています。病床、検査キット、治療薬の確保、発熱外来の拡大やオンライン診療体制の整備など、事前の準備が毎度できていない。陽性率の高さを考えれば、陽性者の実数は発表よりも潜在的に多いはずですよ。お盆明けも感染拡大し続けるのかどうか。いずれにしてもピークアウト予測は希望的観測に過ぎません」（西武学園医学技術専門学校東京校校長の中原英臣氏=感染症学）

昨年のお盆シーズンは第5波が襲来。帰省自粛ムードに覆われたが、お盆明けも感染拡大が続いた。第7波も油断は禁物だ。